



新しい絵本

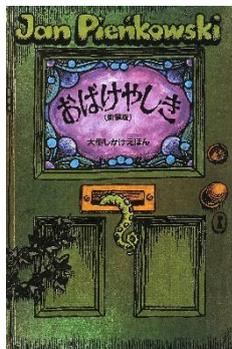
2023年5月
松原ひかり幼稚園



今年も松原ひかり幼稚園に新しい絵本が届きました！ 絵本の時間に自分で読むのもよし、先生に読んでもらうのもよし、お気に入りの絵本が見つかるというですね。比較的新しい絵本も選びました。心に響く‘ことば’や‘シーン’は子どもの成長の糧になるはずですよ。お家でも大好きな本を何度でも一緒に読んであげてくださいね。

『おばけやしき』 ジャン・ピエンコブスキー (大型しかけ絵本)

「おばけ」と言えば何か得体のしれない怖いもの。でも怖いもの見たさにちょっとお化け屋敷を覗いてみたい。ダイナミックな仕掛けが施してあるので、本物のお化け屋敷に入ったような感覚になります。小さな仕掛けもたくさん隠れているので見逃さないでね。破けてしまわないようにそっと開いてみてください。



『おおきいかさ』 エイミー・ジューン・ベイツ

「今日かさを忘れたすべての人へ・・・」
「どんなときも、みんなのぼしょがあるんだよ。」
少ないことばで、こころ暖まる絵本です。小さい子どもたちにも向いています。

『こっちとこっち どっち?』 きたやまようこ

きょうはおでかけ。ひとりでおきがえできるかな？
こっちとこっち、どっちがいい？ と聞かれて子どもが選択するという行為は自分で考えて選ぶという自主性の育つ最初の第一歩です。1歳でもできますよ。だんだん選択肢を増やしていくとよいです。いろいろな場面で応用できそうですね。小さい子どもたちにも向いている絵本です。



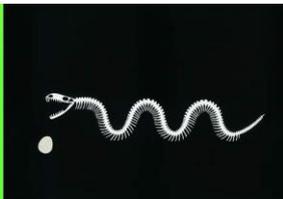
こっち

こっち



こっち

きたやまようこ・まこ



『だれのほね?』 たけうち ちひろ

切り絵作家のたけうちちひろさんの切り絵絵本。だれのほね? 動物を当てるクイズ形式で進んでいきます。意外と難しい! 動物や骨が切り絵になっていて、とっても可愛いです。



『だれのほね? 2 ぼくたちきょうりゅう』 たけうち ちひろ

だれのほね? 第2弾。恐竜の世界へようこそ。福井県立恐竜博物館監修。一段と難しくなっています。恐竜大好きくんは、ぜひ読んでみてください。年長組さんは9月に自然史博物館に行くので、ちょっと予習しておきたいですね。

『おふくろさんのてるてるぼうず』 服部美法

「果報は寝て待て つらいときは ころころに つめたいあめが
ふりつづくように ふあんになったり、しょんぼりしたり・・・
でも そんなときは、『ふくは ねてまて』 ゆったり ねむっ
てまってみて。 めざめたときには、ころころに ひがさしこん
で、きっと きもちが はれている！」(服部美法)

おふくろさんの てるてるぼうず



「おばけのバーバパパ！」

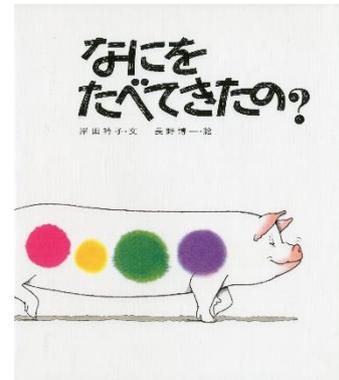
アネット＝チゾン、タラス＝テイラー

バーバパパシリーズの1冊です。絵も文もおしゃれです。
大きな体をしているバーバパパは、動物園に入れられてしまいが、お友達が欲しくておりを脱出し、動物園から追い出されてしまいました。おばけですから、町に出ても行くところもなく、お金もなく誰も相手にしてくれません。こんなバーバパパはどうやって生き延びられるのでしょうか。

「なにをたべてきたの？」

岸田衿子 文 / 長野博一 絵

しろぶたくんは、「何か食べたいな～」とぶらぶら食べ物を探しに行きました。食べても食べてももっと食べたい。そんなことを考えていると、せっけんを見つけました。「これをたべたら、もっときれいになれるかな」とせっけんを食べてしまうしろぶたくん。大丈夫かな？ 心配です。つづきは読んでみてね。



「バムとケロのそらのたび」 島田ゆか

子どもたちの大好きな「バムとケロ」シリーズです。
「くみたてしき ひこうきによって おじいちゃんちへ しゅっぱつ こんどはたのしい そらのたび」
おじいちゃんちへ向かう途中にさまざまな災難がふりかかり、ドキドキはらはら・・・無事おじいちゃん家にたどりつけるのでしょうか。バムと一緒に空の旅を楽しんでください。

「大ピンチずかん」 鈴木のりたけ

「ぎゅうにゅうがこぼれた。これは大ピンチだ。どのくらいの大ピンチ？」
大ピンチの種類も子どもあるあるで、対処の仕方がおもしろくて笑ってしまいます。大ピンチのなりやすさ☆1～5、大ピンチレベル1～100が示されています。ぜひ読んでみてね。

大ピンチずかん



「特急おべんとう号」 岡田よしたか

「おべんとうマラソン」「ねこ 大災難」「特急おべんとう号」の3部作になっています。小型で文も多いですが

絵を見ているだけでも、
愉快的気分になります。



大判絵本『たなばたバス』『りんごがドスーン』

当園にもずいぶん種類が増えてきました。
どんどん活用したいと思います。

「おさかなちゃんとあ～そ～ぼ！」

0さい～3さい 脳そだて

色がとっても鮮やかで光沢があり、
何度でも開いてみたくなる絵本。
ちいさいお友達と一緒に読みたい
と思います。基本的な発達を促します。

